

午後 再開 (R2. 1. 8)

午前中の同じ席に座り再び傍聴しました。

午後は、最初から法廷内に被告の姿はありませんでした。入廷する動きもなく、裁判長からは、被告は不在ですがこのまま続けることができるという説明があり、予定を変更し再開しました。

(本人がいなくても、進められることに驚きました)

〔検察冒頭陳述〕

裁判長をはじめ関係者に資料が配られており、その資料に沿って説明が始まりました。事件の概要、5本の刃物を持って殺害しようとして侵入したことは認めていて争いはない。責任能力の有無と程度が争点になると述べ、被告が事件を起こすまでのことの説明がありました。

平成 24 年 12 月に非常勤として津久井やまゆり園で働くようになった、働き始めた頃は利用者のことを「かわいい」と言うこともあった。しかし、勤務を続けていく中で、また世界情勢を考える中で、考えが変わってきたという説明でした。お金をもっと他のことにまわしたほうがいいと考えるようになったという説明でした。

衆議院議長・参議院議長のところへ手紙を届け、その後やまゆり園を退職し、措置入院となった。その後退院したあとから計画を立てるようになったと述べていました。

その頃から計画した内容の通りに実行したことから、計画的犯行との説明がありました。

- ・夜間に、人目につかないところから侵入する
- ・夜勤者を拘束して、確認しながら実行する
- ・鍵を奪って移動する
- ・終わったあと出頭する
- ・体を鍛えるためムエタイのジムに通う
- ・見た目が良い方がいいので、美容整形をする
- ・事前にホームセンターでガムテープ・拘束バンドを購入している

他にも、当初は心臓を狙っていたが、骨にあたってナイフが折れたりしたので、首を狙うようにしたなど、目的にかなった方法を取ることができていることなどを述べていました。

(夜勤者 1 名を拘束することに失敗したため逃走しよう判断し、最後は手当たり次第刺したと述べた場面があり、千木良の建物の中の逃走経路が目には浮かび、息がつまる思いでした)

検察としては、責任能力はあると考えている。善悪を判断する能力、コントロールする能力、それぞれあったと述べました。

やまゆり園での勤務を続けていく中で、世界情勢を見聞きして興味を持ったことで、特異な考えになっていった。

これから刑を考えるためには、

被告人は19人を殺害し、24人を負傷させた。職員5人を拘束しうち二人に怪我を負わせたという被害が重大であること。

殺意があり、計画的犯行であったこと

反人道的・反社会的であること

被害者家族の処罰感情が強いこと

反省の態度がない、更正の可能性が低いこと

などを考えて刑を確定していきたいと述べました。

(裁判員の人たちに対して、説明しているように感じました)

[弁護側冒頭陳述]

起訴された行為をしたことは確かで、客観的事実は争わない。誠に痛ましい重大なことでそのことは否定しない。

しかし、なぜこのような行為をしたのかについては、腑に落ちない。責任能力について明らかにしたい。

植松さんは、危険ドラッグや大麻を乱用するようになり、本来の植松さんとは違う別の人になってしまい事件が起きた。大麻の乱用でいかに人が変わってしまったかを知るために、本来の植松さんを知ることが必要と、子供の頃まで遡って説明がありました。

本来の植松さんは、素直で、明るくやさしい性格だった。子供のころ同級生に障害のある子がいたが、やさしくしていた。中学・高校でも明るい性格だったという証言がある。教員になりたいと大学に入り、学童保育のアルバイトをし、教員免許を取得した。一方脱法ハーブに手を出したり、入れ墨を入れたりしたのもこの頃だった。

平成24年12月から津久井やまゆり園で働くようになり、障害者のことをかわいいと言ったり、こうやったら喜んでくれると身振り手振りで表現していたという証言がある。この頃も明るくやさしい人物、若気のいたり、やんちゃなお調子者という印象だった。

本来とは違う別の人になってきたのは、平成27年頃、イルミナティカードに興味を持ち始めてから、自分は選ばれた人間、世界の指導者・・・などと言うようになった。

その後、衆議院議員・参議院それぞれの議長に手紙を渡すために、2月13・14・15日届けに行っている。その後、やまゆり園を退職し、津久井警察から相模原市に連絡が行って、措置入院となった。

平成 28 年 3 月 2 日に退院した。そのあとの植松さんの発言としては「俺が障害者をやったら 100 億円もらえる」などの発言を友人が聞いている。

退院後も、大麻の使用を繰り返していた。10 月には決行する予定だった。11 月にはトランプ氏が大統領になると思っていた。

しかし、7 月 24 日、一緒に大麻を使用していた友人の言動から、自分は狙われていると感じるようになった。車にも GPS がつけられていると思い、駐車場に車を置いて、タクシーを使った記録がある。そのタクシーのなかでも、身を隠すように乗車している姿が残っている。その頃自宅で一人暮らしをしていたが、自宅も狙われていると感じていた。

本来の植松さんとは違う、別の人になった。

大麻を使用し続けるとどうなるか、長期に渡って使用を続けると、幻覚・妄想という精神症状がでてくる。

大麻精神病を発症していたため、自分の行為の良い悪いを判断する、コントロールする能力がなかった。

この事件のことは、様々な情報が出ているが、ぜひ法廷で出されたもののみで、判断をしていてもらいたいと述べました。

(検察官と同じく、裁判員に向かって説明しているように感じました)

[今後の予定]

次回からの予定について、裁判長から説明がありました。(詳細省略)

(予備日が複数含まれていることがわかりました)

(被告本人のことは、触れられないまま閉廷し、次回以降が心配な状況でした)

[閉廷]